



事例紹介

case study

実践事例 優秀賞

LAPRAS株式会社





L A P R A S

働きがいも生産性も向上し、
幸せが持続する働き方

LAPRAS
SUSTAINABLE
WORKING
STYLE

LAPRAS株式会社について

社名	LAPRAS株式会社（旧 株式会社scouty）
英文社名	LAPRAS Inc.
設立年月日	2016年5月11日
所在地	141-0031 東京都品川区西五反田1丁目26番2号五反田サンハイツビルディング2階
資本金	389,138,200円（資本準備金も含む）
役員	代表取締役 染谷健太郎
事業許可番号	13 - ユ - 308293（有料職業紹介事業）

- 2016年5月 前代表の島田が株式会社scouty(現LAPRAS株式会社)を設立
第三者割当増資にて1250万円を調達
- 2017年2月 第三者割当増資にてInfinity Ventures Partners（現）Headline）等を引受先として約1億円を調達
- 2018年12月 第三者割当増資にて株式会社ウィルグループ等を引受先として約3億円を調達
- 2019年4月 LAPRAS株式会社に社名変更
事業をピボットし、個人向けサービス「LAPRAS」をリリース
- 2020年9月 第三者割当増資にて株式会社ウィルグループを引受先として約3.5億円を調達
- 2022年2月 代表取締役に現代表の染谷が就任

ITエンジニア向けサービスLAPRAS、企業向けスカウト採用サービスLAPRAS SCOUTにて
転職・採用プラットフォームを展開しています。

エンジニア向け
to C



L A P R A S

ITエンジニアの
貢献を見せる、伝える
キャリアパートナー

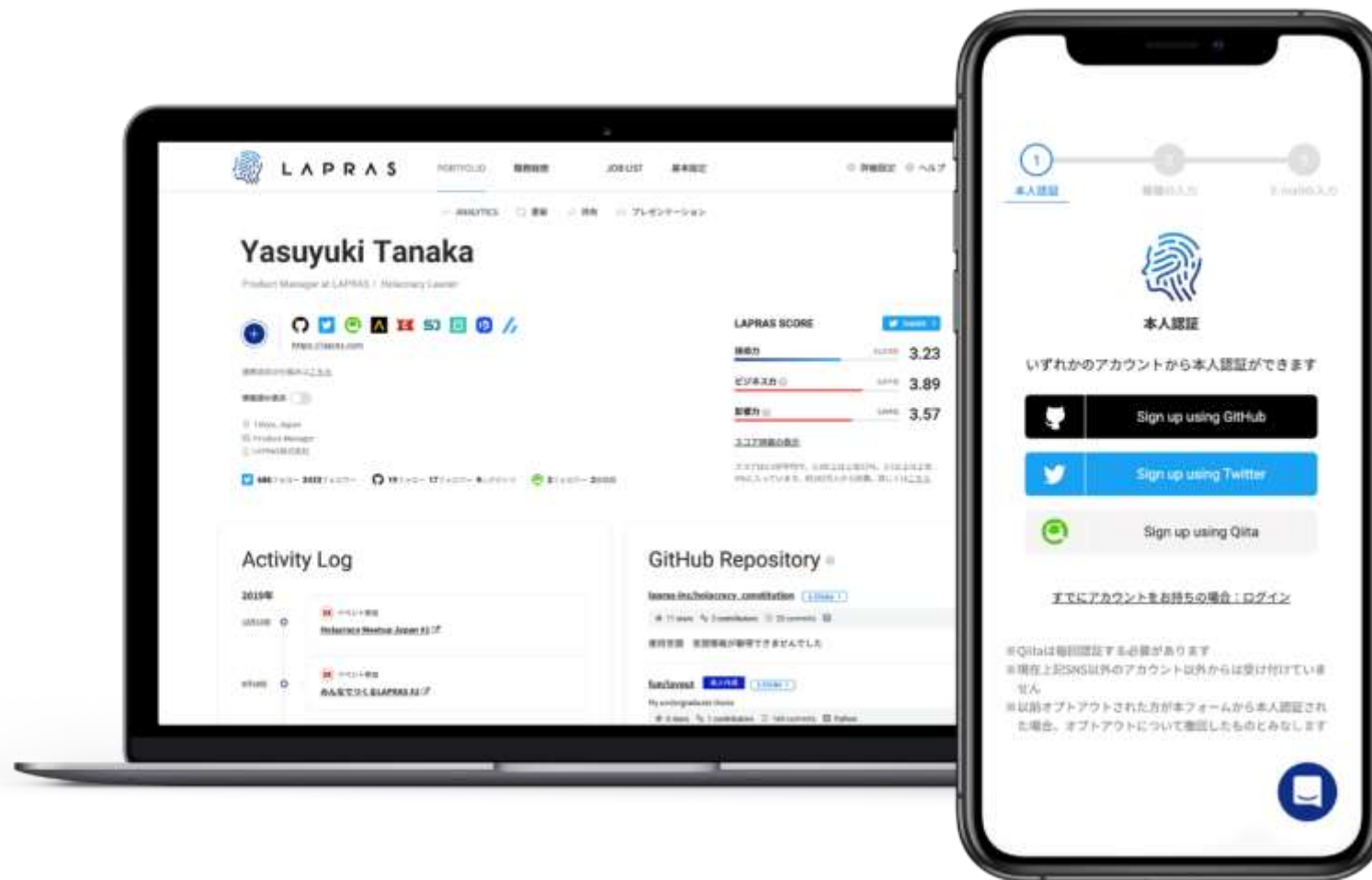
企業向け
to B



L A P R A S
S C O U T

嫌われない、枯渇しない、
つよいエンジニア採用
AIスカウトリクルーティングサービス

LAPRASは、クローリング技術と機械学習による解析を行い、ユーザーのプロフィールを自動生成するサービスです。
一人ひとりの実績や得意なことを可視化し、ポートフォリオとして提供します。





LAPRAS Sustainable Working Style

最低労働時間を撤廃

好きな時間に
働くことができる



フルリモート・オフィスワーク
ワーケーションなど

好きな場所で
働くことができる



働く時間も場所も自由に決めて、幸せが持続する働き方



仕事

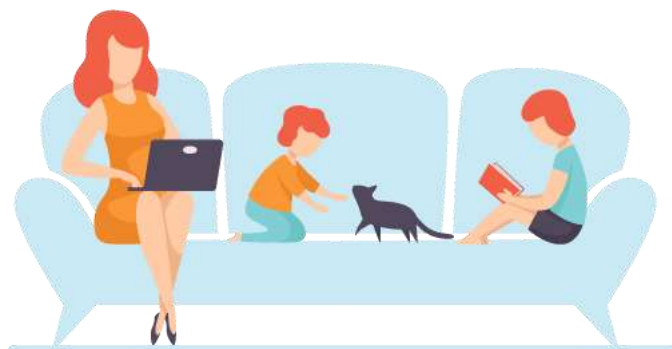
家庭



仕事と家庭の 境界が 曖昧



生活スタイルによって働き方が大きく変化



＼ 解決のために！新たな人事制度を導入！ ／

LAPRAS Sustainable Working Style

（ 時間に縛られない働き方 ）



パフォーマンスを出して働いていれば、所定労働時間に足りなくても給与の減額をしない！

調整可能な働き方！

- ✓ 働く時間が調整可能になりました
- ✓ 働く日を調整可能になりました



✓ 働く時間が調整可能になりました

- 各々のライフスタイルに合わせた始業時間
- 細かな離席を休憩とはせず、フルリモート特有のちょっとした用事にも引け目なく対応できるようにした
- 休憩とは別に1時間の心身の健康を保つための時間をとれるRAW制度の導入

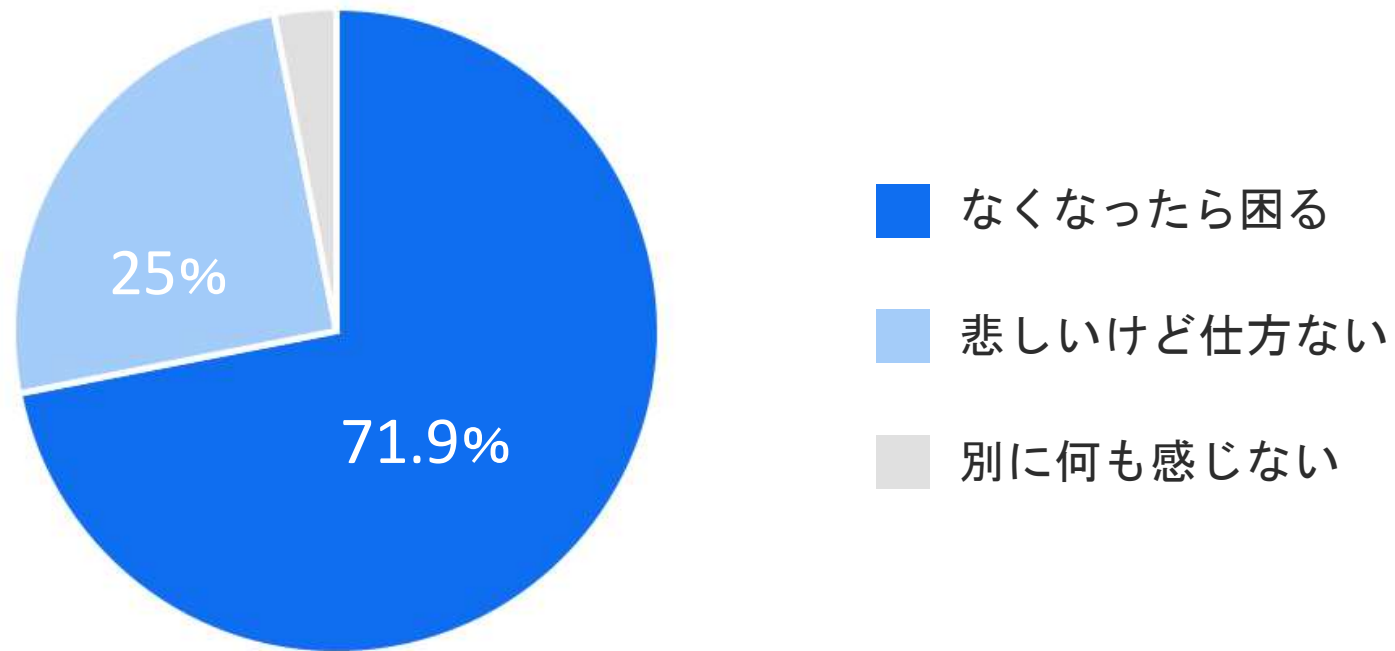


✓ 働く日を調整可能になりました

- 日曜（法定休日）以外だったら超過労働にならない範囲内で労働可能
- 平日家族の予定があり短めに働いた分、土曜に集中して働く事も可能

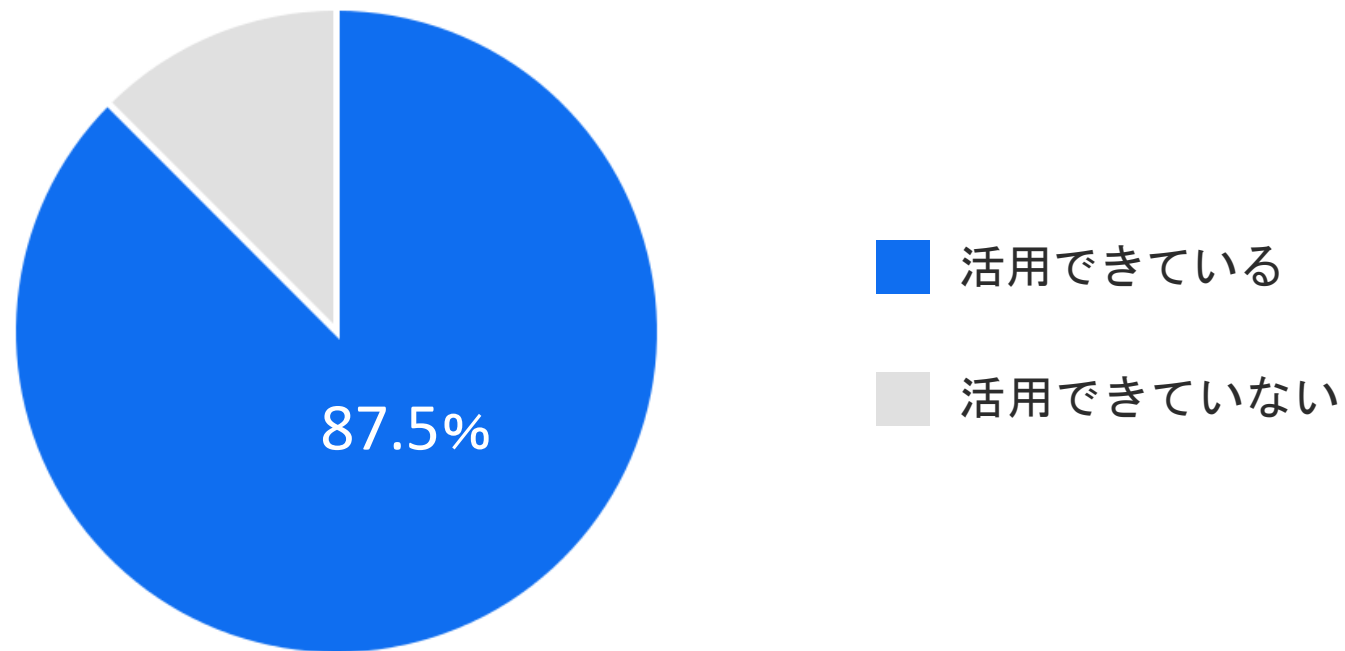


もしLSWが廃止になった場合、どんな気持ちになりますか



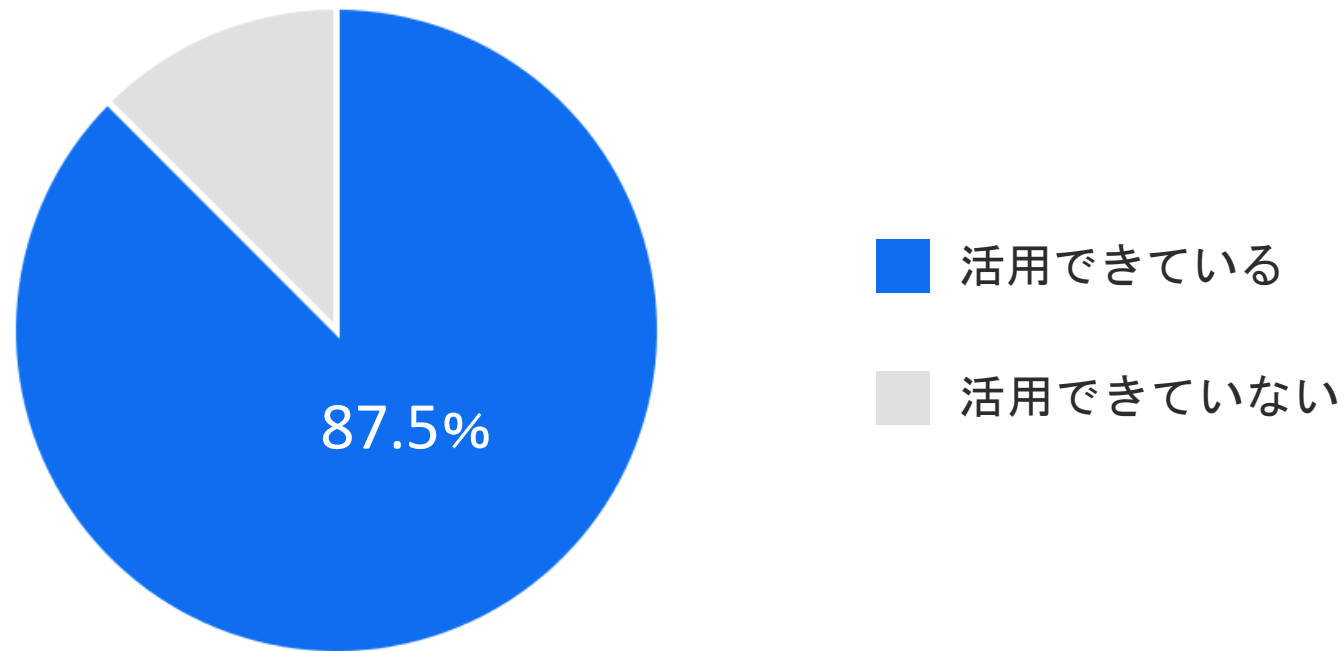
全体の **96.9%**

LSW(時間に縛られない働き方)をうまく活用できていますか



全体の **87.5%**

LSW(場所に縛られない働き方)をうまく活用できていますか



全体の **87.5%**

- ✓ だらだらとした消化試合の様な仕事の仕方が減り、メリハリのある生産性の高い働き方をするメンバーが増えた
- ✓ パフォーマンス測定の明確化
 - 2週間に1回、業務の期待値をすり合わせるコンディショニングMTGの開催
 - 4半期に1度の人事評価制度でパフォーマンス計測が実施

副次的効果

✓ 生活面

- 積極的に子育てに参加するパパの増加
- 離れた実家に住む高齢の両親の様子を見に行きやすくなった
- 病気の家族の通院の付き添いがしやすくなった
- 通勤がない分、睡眠時間が増えてすっきりした頭で仕事ができ、午前中の効率がUPした



副次的効果

✓ 仕事面

- それぞれの生活スタイルに合った働き方の実現
- 今抱えている業務の重さや量に合わせた働き方の調整が可能
- 仕事に対するアクセルの踏み方をコントロールしやすく、燃料不足になりにくい



持続可能な働き方の実現へ